

* 表記 :念 (ねん)

* 意味記述 :強く持ち続けている気持ちや思い。

* 意味素性 1 : G R A 用例 1 :年を取るにつれて、望郷の念が強くなっていった。

* 意味素性 2 : A B S 用例 2 :あの娘は先生に尊敬の念を抱いている。

* S 文例 : [人を尊敬する] 念が深い人は逆に人からも尊敬されるものだ。

* S ト文例 :私は、[早くこの仕事を終わらせなければいけないという] 念にずっととらわれていた。

[意味情報 1 / 2]

素性 G R A

関連 | 同義

関連 | 類義 気持ち, 思い

関連 | 対 1

関連 | 対 2

関連 | 対 3

関連 | 対 4

助数詞

[項の用法 1 / 2]

動詞 | ガ | (尊敬の / 危惧の / …) ★ | ガ | 高まる, 強まる, 高くなる, 強くなる。

動詞 | フ

動詞 | ニ

動詞 | 他

動詞 | 副二

形容 | ガ | (望郷の / …) ★ | ガ | 強い。

形容 | ニ

形容 | 他

形容 | 副二

名詞 | ガ

名詞 | ニ

名詞 | 他

[意味情報 2 / 2]

素性 A B S

関連 | 同義

関連 | 類義 気持ち, 思い

関連 | 対 1

関連 | 対 2

関連 | 対 3

関連 | 対 4

助数詞

[項の用法 2 / 2]

- 動詞 | ガ | (畏敬の / …) ★ | ガ | 呼び起こされる。
- ニ | (愛惜の / …) ★ | ガ | ある, ない。
- 動詞 | ヲ | ガ | (畏敬の / 反省の / …) ★ | ヲ | 持つ, 抱く, 示す, 表明する, 失う, つのらせる。
- ガ | (自責の / …) ★ | ヲ | かきたてる, 呼び起こす。
- ガ, ニ | (反省の / …) ★ | ヲ | こめる。
- 動詞 | ニ | ガ | (不信の / 感激の / …) ★ | ニ | かれる, うたれる。
- 動詞 | 他
- 動詞 | 副ニ
- 形容 | ガ
- 形容 | ニ
- 形容 | 他
- 形容 | 副ニ
- 名詞 | ガ
- 名詞 | ニ
- 名詞 | 他

[連体用法]

- NPOノ
- NPOナ ×
- NPOノ / ナ ×
- 連体文例

[連体被修飾用法 1]

- ノNPO <具体化> 哀悼の-, 望郷の-, 自責の-, 畏敬の-, 尊敬の-, 悲しみの-, 共感の-, 賞賛の-, 不審の-。
- ノNPO補
- ～ノNPO
- 他NPO
- 被連体文例

[連体被修飾用法 2]

- S平叙 ～る
- S文例 [人を尊敬する] 念が深い人は逆に人からも尊敬されるものだ。
- Sト平叙
- Sト疑問
- Sト文例 私は、[早くこの仕事を終わらせなければいけないという] 念にずっととらわれていた。
- 副平叙

副文例

備考 「との」可。「とする」不可。[S] 中に主語はあらわれない。[Sという] は文末制限なし。[S]、[Sという] ともにあまり使われない。

[形態情報 1 / 1]

合成語要素 ねん

要素表記 念 (ねん)

補足

合成 | 名前 -願

合成 | 名後 無-, 一-, 怨-, 雑-, 残-, 断-, 通-, 疑-, 邪-, 悪-

合成 | 形

合成 | 動 -掛 (が) ける

合成 | 副

合成 | 他